

めまたレポート



林柳波をしのぶ
第22回わらべフェスタ「柳波まつり」
4月29日(水)・30日(木)

本市出身の童謡作家「林柳波」にちなんだ「柳波まつり」が、本町通りをメイン会場として行われ、歩行者天国となった通りには露店が多数出店。街角では童謡などのコンサート、4人1組のチームで走るわらべ駅伝や稚児行列などが開催され、中央公民館では柳波に関する資料を集めた「柳波展」も開催されました。

温泉街が活気に溢れて
第51回老神温泉「大蛇まつり」
5月8日(金)・9日(土)

大蛇まつりは、赤城の神(大蛇)への感謝の気持ちを込めて、毎年5月に開催される例祭です。期間中は、老神温泉のますますの繁栄と訪れた人の幸せを願う御神湯守の儀や臺目の儀などの儀式のほか、昼間はかわいい子供蛇みこしが、夜は勇壮な大蛇みこし(若衆みこし)が練り歩き、2日間温泉街は活気に溢れていました。



大蛇みこし

10年に一度の公開
迦葉山龍華院弥勒寺大開帳
4月28日(火)～5月28日(木)

天狗の霊峰として知られる迦葉山龍華院弥勒寺で御開帳が行われました。期間中は、中峯堂の奥殿にある厨子が10年ぶりに開かれ、54段の階段を昇って、「お天狗様」を間近に拝むことができ、普段立ち入ることのできない貴重な機会として大勢の人が参拝しました。



子供蛇みこし



赤城神社神事

臺目の儀

御神湯守の儀

鼓笛パレード

市ホームページでも、イベント結果などを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

YOROZU
よろずとーく 97
TALK

第18回冬季デフリンピック競技大会
スノーボード・ハーフパイプ
銅メダリスト
津久井 康友さん
(下久屋町)
Yasutomo Tsukui



**8年間の練習がメダルにつながり
言葉にならないうれしきでいっぱいでした**

「市民の皆さん、応援してくれた皆さん、最後まで諦めずに頑張ることができました。ありがとうございました。」
3月28日(土)から4月5日(日)まで、ロシアで開催された聴覚障害者スポーツの祭典、第18回冬季デフリンピック競技大会。4競技に22人が参加した日本は、過去最高となる5個のメダルを獲得し大会の幕を閉じた。「世界大会の出場は初めてでしたが、緊張せずに楽しめました。手話通訳を介し、そう話す津久井さん。スノーボード・ハーフパイプ日本代表として出場し、見事銅メダルを獲得した。「8年間の練習がメダルにつな



横山市長に銅メダル獲得の報告をする津久井さん

がったので、言葉にならないうれしきでいっぱいでした」
実は、4年前のスロバキア大会にも出場を決めていた津久井さんだが、スロバキア組織委員会の事情により、開催直前で中止となるつらい思いがあった。「あの時は、練習してきた日々が無駄になった気がしました」それでも諦めることなく、夏は山梨の室内練習場で空中感覚を鍛え、冬は長野と新潟でコーチに指導を受け、仕事を終えた後も県内のスキー場で技を磨き、8年分の気持ちを込めて手にした、価値ある銅メダル。「メダルは獲得できましたが、コースが難しく、ベストな力が発揮できませんでした。4年後も出場し、今度は満足できる滑りを披露したいと思っています」苦難を乗り越え得た喜びに満足することなく、さらなる高みを目指す挑戦はこれからも続く。



津久井康友さん銅メダル獲得おめでとうございます
※写真は、4月1日(水)に行われたメダルセレモニーの様子(一般財団法人全日本ろうあ連盟提供)